

2022年度「県政お届け講座」テーマ一覧

※ テーマ名のリンクをクリックすると申込のための電子申請システム画面に移行します。

分類	テーマ番号	テーマ名	内容	担当課・連絡先	おすすめ	産学以外に体験講座を行っている	子ども向け	学生向け	保護者向け	高齢者向け	地域の各種団体向け	企業向け	公的機関向け	その他	オンライン対応
農林水産	7-1	「食と緑の基本計画2025」について～食と緑を支える豊かな「あいち」をめざして～	2020年12月に策定した「食と緑の基本計画2025」について御説明し、皆さんと協働して取り組む内容について意見交換を行います。	農政課 企画グループ TEL:052-954-6391 FAX:052-954-6928 nousei@pref.aichi.lg.jp			○	○	○	○	○	○	○		可
農林水産	7-2	「地産地消」のすすめ～「いいともあいち運動」を知っていますか～	「いいともあいち運動」は消費者と生産者が“いい友達”関係を築き、もっと愛知県産品を食べよう、利用しようという運動です。ここでは、健康な食生活を送り、環境にも優しい「地産地消」の大切さと「いいともあいち運動」について御説明します。	食育消費流通課 需要拡大・ブランド力強化グループ TEL:052-954-6434 FAX:052-954-6940 shokuiku@pref.aichi.lg.jp			○	○	○	○	○	○			可
農林水産	7-3	農薬の安全使用について	農薬は、農産物の生産安定や農作業の省力化には欠かせない資材です。しかし、使い方を誤ると人体や周辺環境に悪い影響を及ぼす可能性があります。適正な使用方法など農薬を使う上で知っておくべき事項について分かりやすく御説明します。	農業経営課 環境・植防グループ TEL:052-954-6411 FAX:052-954-6931 nogyo-keiei@pref.aichi.lg.jp							○	○			可
農林水産	7-4	最新の農業技術研究の現状	皆さんは農業に対してどのようなイメージを持っていますか。豊かな田園風景が心を和ませるのも農業の重要な役割ですが、最も進んだ科学技術が活用されているのが現在の農業の姿です。農業総合試験場の最近の研究成果を例に最新の農業技術を御紹介します。	農業総合試験場 研究戦略部 企画調整室 TEL:0561-62-0085(内線322) FAX:0561-63-0815 nososi@pref.aichi.lg.jp 〒480-1193 長久手市岩作三ヶ峯1-1				○	○	○					可
農林水産	7-5	スマート農業について	ロボットやAI(人工知能)、ICT(情報通信技術)などの先端技術を活用して、超省力・高品質・高生産・精密化等を実現する「スマート農業」の取組について御説明します。	農業総合試験場 研究戦略部 企画調整室 TEL:0561-62-0085(内線322) FAX:0561-63-0815 nososi@pref.aichi.lg.jp 〒480-1193 長久手市岩作三ヶ峯1-1			○	○	○	○					可
農林水産	7-6	あいちのお茶について	愛知県の茶生産は西三河地域から東三河地域にかけて、沿岸から山間地へと広がっており、それぞれの地域において地形・気候の特徴を活かした栽培が行われています。また、抹茶の原料であるてん茶の生産が多いという特色があります。本講座では、てん茶(抹茶の原料)や、普通せん茶、深蒸しせん茶、かぶせ茶、有機栽培茶、紅茶など県内で生産されている多種多様なあいちの茶の特徴等について御説明します。	園芸農産課 特用作物グループ TEL:052-954-6416 FAX:052-954-6932 engei@pref.aichi.lg.jp			○	○	○	○	○	○	○		可
農林水産	7-7	あいちのお米について	お米は、日本人の主食であり、最も重要な農作物の1つです。そのため、生産者の皆さんが安定して栽培でき、消費者の皆さんが安心して食べていただけるように、法律や各種制度が存在しています。また、お米は愛知県の農産物の中で最も産出額が高い品目です。そこで、愛知県のお米の栽培状況や各種制度に関する県の取組について御紹介します。	園芸農産課 稲・麦・大豆グループ TEL:052-954-6420 FAX:052-954-6932 engei@pref.aichi.lg.jp			○	○	○	○	○	○	○		可
農林水産	7-8	あいちの小麦について	あいちの小麦は、10aあたり収量が全国1位になるなど、全国でも非常に高い生産性を誇っています。日本種用の「きめあかり」、パン、中華種用の「ゆめあかり」の2品種が作付されており、さまざまな需要に応えています。こうした、あいちの小麦に関する情報や、県の取組等を御紹介します。	園芸農産課 稲・麦・大豆グループ TEL:052-954-6420 FAX:052-954-6932 engei@pref.aichi.lg.jp			○	○	○	○	○	○	○		可
農林水産	7-9	あいちの果物の話	愛知県では、みかんや、かき、ぶどう、いちじくなど多種類の果物が栽培され、一年を通して様々な果物を食べることができます。こうしたあいちの果物の魅力や、それを支える取組、さらにはあいちの果物に関するイベント等を御紹介します。	園芸農産課 野菜・果樹グループ TEL:052-954-6418 FAX:052-954-6932 engei@pref.aichi.lg.jp			○	○	○	○	○	○	○		可
農林水産	7-10	あいちの伝統野菜って何？！	愛知県では、①1955年頃に栽培されていたもの、②地名、人名など愛知県に由来しているもの、③今でも種や苗があるもの、4種や生産物が手に入るものを条件にあいちの伝統野菜を選定しました。現在、21品種35品目が選定されています。あいちの伝統野菜をはじめ、愛知で作られる野菜を身近に感じていただきたいと思えます。	園芸農産課 野菜・果樹グループ TEL:052-954-6418 FAX:052-954-6932 engei@pref.aichi.lg.jp			○	○	○	○	○	○	○		可
農林水産	7-11	あいちの花は日本一！	愛知県は日本一の花き生産を誇るとともに、生産から消費までの花き関係者が消費拡大に向けた様々な取組を行っています。キク、バラ、観葉植物、洋らんを始めとした花き生産の現状や最新の生産技術の概要、花きイベントや「花いっぱい県民運動」の推進などの取組について御紹介します。	園芸農産課 花きグループ TEL:052-954-6419 FAX:052-954-6932 engei@pref.aichi.lg.jp			○	○	○	○	○	○	○		可
農林水産	7-12	あいちの畜産について～愛知県の畜産の現状と新たな取組～	愛知県は、全国的に見ても畜産業が非常に盛んで、酪農、肉用牛、養豚、養鶏といった畜産経営が、都市部から山間地域まで幅広く展開されています。全国有数の大規模経営体もあれば、自農場で生産される畜産物を提供するレストラン経営や、食品工場から出る食品製造副産物の家畜への飼料利用等、その内容は多岐にわたります。本講座では、こうした愛知県の畜産の現状等について、行政からの視点を中心に御説明します。	畜産課 畜政環境・飼料グループ TEL:052-954-6425 FAX:052-954-6934 chikusan@pref.aichi.lg.jp			○	○	○	○	○	○	○		可
農林水産	7-13	家畜の病気について～生産現場における食の安全安心～	豚熱、鳥インフルエンザ発生時の防疫活動の内容と意義について御説明し、農場段階における食の安全安心に対する取組について御理解いただきます。	畜産課 家畜防疫対策室 防疫グループ TEL:052-954-6120 FAX:052-954-6934 chikusan@pref.aichi.lg.jp			○	○	○	○	○	○	○		可
農林水産	7-14	スーパーカウを増やせ～乳用牛改良と愛知県の取組～	畜産総合センターでは、北米の高能力乳用牛(スーパーカウ)の受精卵を輸入し、産まれた雌牛を改良の基礎牛として活用することで、県内酪農家に優秀な乳用牛を供給して農家の改良を支援する取組を実施しています。本講座では、乳用牛改良の現状や畜産総合センターの役割を分かりやすく御紹介します。	畜産総合センター 種畜部 酪農課 酪農グループ TEL:0564-21-0201(内線27) FAX:0564-22-1857 chikusan-c@pref.aichi.lg.jp 〒444-0006 岡崎市丸山町字亀山9の1				○				○		可	
農林水産	7-15	系統豚を利用した豚肉の生産	愛知県では全国で唯一豚肉生産の素豚となる3品種の系統豚を所有し、県下の生産者に譲渡しています。これら系統豚の組み合わせでできる豚肉(三元豚)がおいしい豚肉として食卓に提供されています。ここでは、愛知県の系統豚(愛称「愛とん」)や、豚生産の話を図表、写真等使って分かりやすく御説明します。	畜産総合センター 種畜部 養豚課 養豚グループ TEL:0564-21-0201(内線25) FAX:0564-22-1857 chikusan-c@pref.aichi.lg.jp 〒444-0006 岡崎市丸山町字亀山9の1			○	○	○	○	○	○		可	
農林水産	7-16	牛の受精卵移植	畜産総合センターでは、ET(EMBRYO TRANSFER:受精卵移植)技術を用い牛の改良・増殖を行っています。優良種畜のホルスタイン雌牛と黒毛和種雌牛から受精卵を採取し、県内の農家に供給しています。ET車で農家所有牛での採卵も行っていきます。ここでは、ET技術の概要を分かりやすく御紹介します。	畜産総合センター 技術部 人工妊娠課 人工妊娠グループ TEL:0564-21-0201(内線28) FAX:0564-22-1857 chikusan-c@pref.aichi.lg.jp 〒444-0006 岡崎市丸山町字亀山9の1				○				○		可	

分類	テーマ番号	テーマ名	内容	担当課・連絡先	おすすめ	産学以外に体験講座を行っている	子ども向け	学生向け	保護者向け	高齢者向け	地域の各種団体向け	企業向け	公的機関向け	その他	オンライン対応	
農林水産	7-17	地鶏の王様 名古屋コーチン ～名古屋コーチンの改良の歴史と特徴～	明治より養鶏王国愛知を牽引した名古屋コーチンですが、昭和30年代後半になると外国鶏に押されて衰退します。昔ながらの「かしわ」の味を求める消費者の声に応え、愛知県は名古屋コーチンの改良と復活に着手、本県の特産品として民間へのヒナの供給を行っています。この名古屋コーチンの歴史と特徴について、解説します。	畜産総合センター種鶏場 種鶏課 種鶏グループ TEL:0566-76-3369 FAX:0566-76-4851 syukeijo@pref.aichi.lg.jp 〒446-0073 安城市篠目町古林30番の6				○		○		○			可	
農林水産	7-18	あいちの水産物と水産業	愛知県の海は、漁獲量日本一のアサリやガザミ(ワタリガニ)をはじめ、シラス、ノリ、トラフグなど、様々な水産物をもたらす海の恵みの宝庫です。愛知県産のおいしい水産物とともに、身近な海でどのような漁業が行われているのか、分かりやすく御紹介します。	水産課 企画・資源グループ TEL:052-954-6458 FAX:052-951-1645 suisan@pref.aichi.lg.jp			○	○	○	○	○	○				可
農林水産	7-19	水産技術研究の現状 ～水産試験場の取組～	水産業は生物多様性の上に成り立っています。水産試験場では干潟・藻場の保全、再生研究を始め、イカナゴ、トラフグ、アサリなど水産資源の持続的利用の研究、高品質で安全なノリ、ウナギ、キンギョ、マスなどの養殖技術の開発などの試験研究を行っています。試験研究の概要について御紹介します。	水産試験場 企画情報部 企画普及グループ TEL:0533-68-5198 FAX:0533-67-2664 suisanshiken@pref.aichi.lg.jp			○	○	○	○	○	○				可
農林水産	7-20	大地を潤す農業用水 ～大規模農業用水の歴史～	愛知県では、古くから木曽川・矢作川・豊川を始めとする河川の水を利用した数多くの農業用水が開削され、世界かんがい施設遺産に登録された用水が複数あります。戦後は愛知用水を始めとする大規模水利事業を展開してきました。これらの事業は「ものづくり日本一」の愛知県の発展の礎となっています。本県の農業用水の歴史や地域での役割などを御説明します。	農地計画課 広域調整グループ TEL:052-954-6431 FAX:052-954-6935 nochi-keikaku@pref.aichi.lg.jp			○	○	○	○	○	○				可
農林水産	7-21	農地・水・環境を守ろう! ～農村環境の持つはたらきと未来につなぐ地域の取組～	農地や農業用水などは食料を生産するだけでなく、多様な生物の生息、県土の保全、景観形成など様々な機能を有しています。この農地や農業用水路などを地域ぐるみで守る活動を支援する「多面的機能支払交付金」の仕組みと代表的な取組を御紹介します。	農地計画課 企画・計画グループ TEL:052-954-6429 FAX:052-954-6935 nochi-keikaku@pref.aichi.lg.jp			○	○	○	○	○	○				可
農林水産	7-22	水土里のオアシス ため池 ～その秘密に迫る～	農業用水を供給することを目的に造られたため池は、多様な生物の棲処、地域住民の憩いの場、洪水の緩和など、様々な恵みを地域に提供しています。こうした、農業用ため池の役割と共に、地域の財産であるため池を保全するために実施されている池干しなども御紹介します。	農地計画課 調査グループ TEL:052-954-6432 FAX:052-954-6935 nochi-keikaku@pref.aichi.lg.jp			○	○	○	○	○	○				可
農林水産	7-23	食料等の生産基盤の整備	農産物を安定して供給するためには、生産性を向上させる必要があります。愛知県では、農作物の輸送・作業機械の移動に使う農道、農業用水をほ場に送る用水路や余分な雨水を流す排水路などの整備を行っています。これらの取組について分かりやすく御説明します。	農地整備課 生産基盤・団体営グループ TEL:052-954-6438 FAX:052-972-7916 nochi-seibi@pref.aichi.lg.jp			○	○	○	○	○	○				可
農林水産	7-24	農村の環境整備	ため池や水路などの農業水利施設は、水に親しめる身近な場所であるとともに、多様な生物が生息するビオトープでもあります。愛知県では、生態系や景観に配慮し、安らぎと潤いのある親水空間を持った農業水利施設の整備を行っています。これらの取組について分かりやすく御説明します。	農地整備課 環境整備・単営グループ TEL:052-954-6439 FAX:052-972-7916 nochi-seibi@pref.aichi.lg.jp			○	○	○	○	○	○				可
農林水産	7-25	農村地域の自然災害の防止	大規模地震や豪雨による洪水の被害が心配されています。愛知県では、自然災害から地域を守るため、ため池や排水路、排水機場などの整備を行っています。これらの取組について分かりやすく御説明します。	農地整備課 防災グループ TEL:052-954-6440 FAX:052-972-7916 nochi-seibi@pref.aichi.lg.jp			○	○	○	○	○	○				可
農林水産	7-26	県有林における森林整備活動へのお誘い	愛知県では、NPOや企業等が自主的に森林整備活動を行う場として県有林を提供しています。森林の様々な役割を紹介しながら、県有林での森林整備活動の事例、活動の進め方、手続きについて御説明します。	林務課 県有林グループ TEL:052-954-6446 FAX:052-954-6936 rinmu@pref.aichi.lg.jp							○	○	○			可
農林水産	7-27	あいちの森林・林業及び木材利用	森林は、水源かん養や県土保全、地球温暖化防止など、私たちの豊かな生活を支える様々な働きをしており、カーボンニュートラルの実現やSDGsの達成に貢献しています。そこで、本県の森林・林業の現状や大切さを理解していただくため、森林の働きや山の仕事について御紹介するとともに、木材(とりわけ県産木材)を利用することの意義やその活用事例などについて御説明します。	林務課 普及グループ TEL:052-954-6444 FAX:052-954-6936 rinmu@pref.aichi.lg.jp				○			○	○				可
農林水産	7-28	海上の森の保全と活用の取組	《体験あり》 あいち海上の森センターが、1.海上の森を愛知万博記念の森として保全していること、2.海上の森を森林や里山に関する学習と交流の場として活用していること、取組について、分かりやすく御説明し、意見交換も行います。	あいち海上の森センター 保全・活用グループ TEL:0561-86-0606 FAX:0561-85-1841 kaisho@pref.aichi.lg.jp 〒489-0857 瀬戸市吉野町304-1		○	○	○	○	○	○	○				可